MAZROC

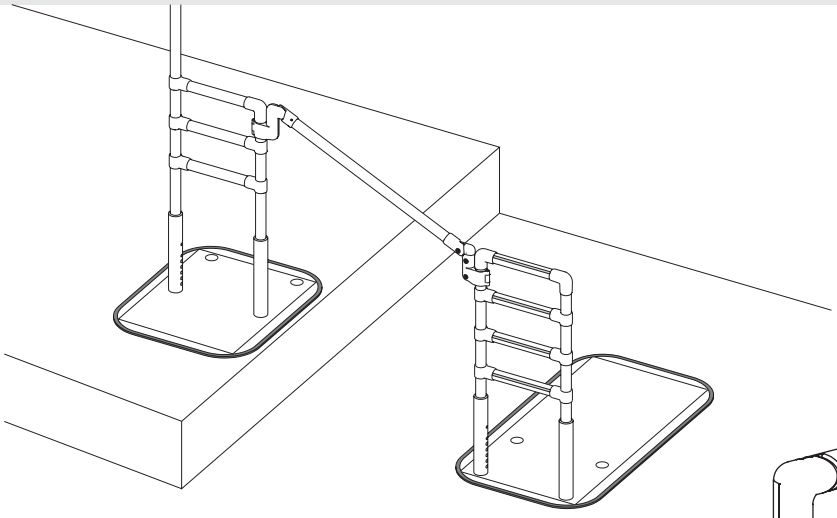
BAUHAUS

# たよレール

# 取扱説明書
# 取付け要領書

わたレール６００N・９００N・１２００N

品番　ＢＺＷ－６００N・ＢＺＷ－９００N・ＢＺＷ－１２００N

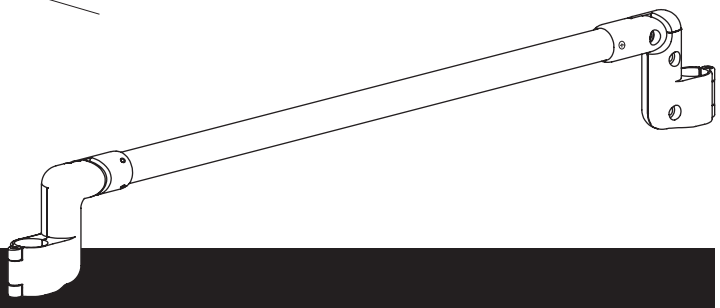


【納入業者様へ】

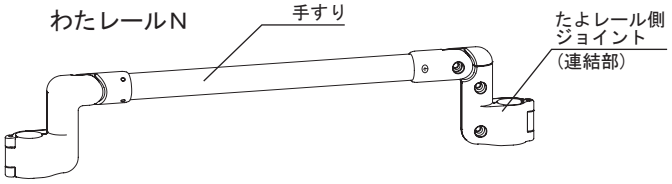
取付けは、納入業者様が行ってください。
P10『⑨保証規定』に納入業者様名、ご購入日を記入する箇所がありますので、必ず記入ください。
取付け後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

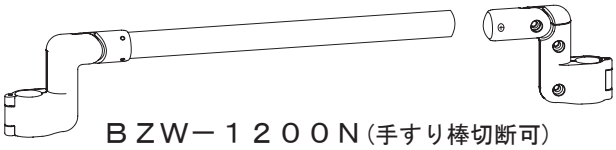
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



## ① 各部の名称

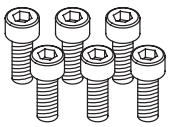



ＢＺＷ－６００N・ＢＺＷ－９００N（手すり棒切断不可）



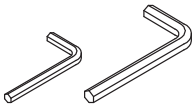
ＢＺＷ－１２００N（手すり棒切断可）

六角穴付きボルト
Ｍ８×２０　６本
（４本部品取付け済、
２本袋入）



六角穴付き止めねじ
Ｍ５×４　４本
（４本部品取付け済）

六角棒スパナ
呼び２．５㎜・６㎜



丸皿タッピンねじ　４×２０　２本
（【600N・900N】
２本部品取付け済
【1200N】
１本部品取付け済、１本袋入）

この度は「BAUHAUS たよレール用わたレールN」を
お買い求めいただき、ありがとうございます。
この商品は「BAUHAUS たよレール」専用の連結手すりです。
ご使用前にはこの説明書をよく読んで、
正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

⚠ 拡大損害が予想される事項
⃠ 禁止行為 ⃠ 分解禁止
❗ 必ず行う

●第三者に譲渡・貸与される場合も、
この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店
もしくは弊社にご連絡ください。

■もくじ■


① 各部の名称 …… 1
② 安全上のご注意 …… 2
③ 取付け方法
・取付け前の準備 …… 2-3
・取付け方法 …… 3-7
④ 設置方法 …… 8
⑤ 使用上のご注意 …… 8-9
⑥ 使用方法 …… 9
⑦ お手入れ方法
・普段のお手入れ方法 …… 9
・消毒方法 …… 10
・点検 …… 10
・保管方法 …… 10
⑧ 廃棄方法 …… 10
⑨ 保証規定（保証書） …… 10
⑩ 基本仕様 …… 11

# ② 安全上のご注意

●取付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けしてください。

## ⚠警告（けいこく）　重大な事故の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|---|---|---|
| ⃠ | ●たよレール及びたよレール用オプションは、絶対に指定製品以外や、他社製品と組み合わせて使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ⃠ | ●ねじなど必要な部品を省かない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ⃠ | ●わたレール６００Ｎ・９００Ｎの手すり棒は切断しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ⃠ | ●分解、改造、加工は絶対にしない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ❗ | ●両側にたよレールまたは、たよレールhighを取付けた状態で使用する。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ❗ | ●設置(取付け)後に、ガタツキ、ねじの緩み、締め忘れがないことを確認する。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| ❗ | ●使用される方の動線を十分に検討して設置する。 | 重大な事故の原因となる。 |
| ❗ | ●手すりの高さや位置を使用される方の身体状態に合わせて設置する。 | 重大な事故の原因となる。 |

## ⚠注意（ちゅうい）　ケガや器具損傷の原因となる。

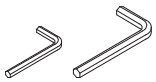
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|---|---|---|
| ⃠ | ●浴室・脱衣所・洗面所などで水に濡れる場所には、設置しない。 | 変質や器具損傷の原因となる。 |
| ⃠ | ●直射日光のあたる場所では使用しない。 | 金属部分が熱くなり、やけどの原因となる。<br>また、変色や器具損傷の原因となる。 |
| ⃠ | ●火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前、床暖房の上で使用しない。 | 変形変色、器具損傷の原因となる。 |
| ❗ | ●移動させる場合は、わたレールＮのボルトを緩め(仮固定程度)たよレールのベースプレート部を持って移動させる。<br>また他の人がわたレールＮとたよレールの連結部に触れていないことを必ず確認する。 | 器具損傷や連結部に指を挟むなど、重大な事故の原因となる。 |

# ③ 取付け方法

❗ ●取付けは納入業者の方が必ず行ってください。

## ■取付け前の準備

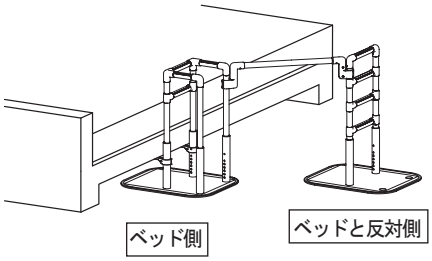
1．付属されている六角棒スパナを準備する。(呼び2．5㎜、６㎜ わたレールN付属品)

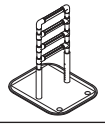
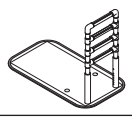
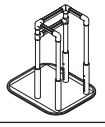


2．使用可能部材の確認。

①たよレール(ＢＺ－Ｎ０１・ＢＺ－Ｎ０２・ＢＺ－Ｎ０３)をベッドサイドで連結する場合

※ベッドサイド以外でご使用される場合はＰ３『■取付け方法』へ。




| | BZ－N01 | BZ－N02 | BZ－N03 |
|---|---|---|---|
| |  |  |  |
| ベッド側 | 使用可 | 使用可 | 使用可 |
| ベッドと反対側 | 使用可 | 使用可 | 使用不可 |

❗ ●ベッド側の本体にはオプション品の『セーフティアーム』を取付けてベッドフレームと密着させるか『セーフティウエイト』を取付けて設置する。

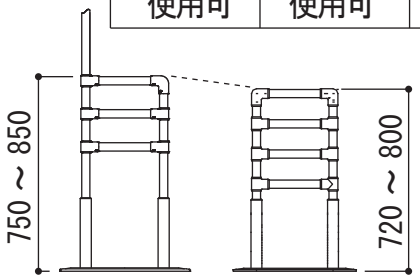
# ③ 取付け方法

## ②たよレール high（ＢＺＨ－０１・ＢＺＨ－０２・ＢＺＨ-１０１-A）を連結する場合

| BZH－01 | BZH－02 | BZH－101－A |
|---|---|---|
| (屋内用) | (屋内用) | (屋外用) |
| | | |
| 使用可 | 使用可 | 使用可 |

## ③たよレールとたよレールhighを連結する場合

たよレール（ＢＺ－Ｎ０１・ＢＺ－Ｎ０２・ＢＺ－Ｎ０３）とたよレールhigh（ＢＺＨ－０１・ＢＺＨ－０２）では手すり高さが異なる為、水平に連結することができない場合があります。



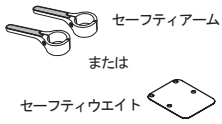

## ■取付け方法

### 1．オプション品『 セーフティアーム 』・『 セーフティウエイト 』の取付けと連結方法。

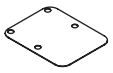
※取付け方法は、『セーフティアーム』・『セーフティウエイト』の取扱説明書をご覧ください。

①たよレール（ＢＺ-Ｎ０１・ＢＺ-Ｎ０２・ＢＺ-Ｎ０３）または
たよレールhigh（ＢＺＨ-０１・ＢＺＨ-０２）を２台連結させる場合

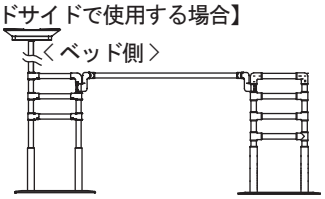
【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉

| たよレール | たよレール |
|---|---|
|   | オプション品<br>不 要 |

【ベッドサイド以外で使用する場合】

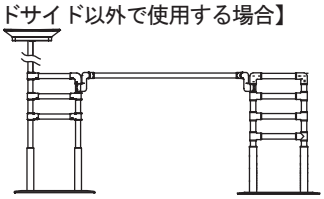
| たよレール | たよレール |
|---|---|
| どちらか１台にセーフティウエイト  | |

【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉



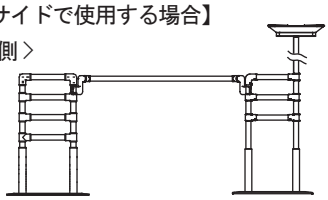
| たよレールhigh | たよレール |
|---|---|
| オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレールhigh | たよレール |
|---|---|
| オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉



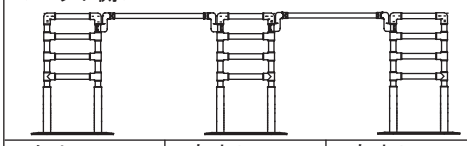
| たよレール | たよレールhigh |
|---|---|
| オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

# ③ 取付け方法

②たよレール（ＢＺ−Ｎ０１・ＢＺ−Ｎ０２・ＢＺ−Ｎ０３）または
たよレールhigh（ＢＺＨ−０１・ＢＺＨ−０２）を３台連結させる場合

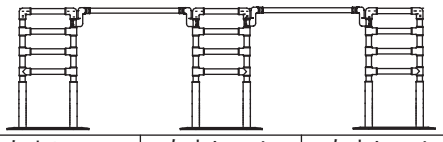
【ベッドサイドで使用する場合】

〈ベッド側〉



| たよレール | たよレール | たよレール |
|---|---|---|
| セーフティアーム<br>または<br>セーフティウエイト | どちらか１台にセーフティウエイト | |

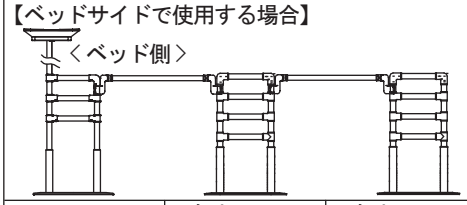
【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレール | たよレール | たよレール |
|---|---|---|
| ２台にセーフティウエイト | | |

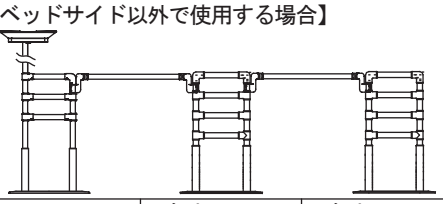
【ベッドサイドで使用する場合】

〈ベッド側〉



| たよレールhigh | たよレール | たよレール |
|---|---|---|
| オプション品<br>不 要 | どちらか１台にセーフティウエイト | |

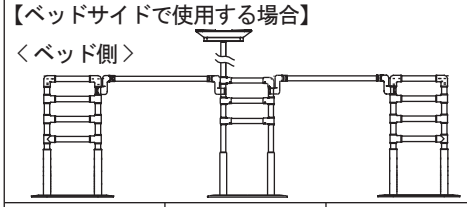
【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレールhigh | たよレール | たよレール |
|---|---|---|
| オプション品<br>不 要 | どちらか１台にセーフティウエイト | |

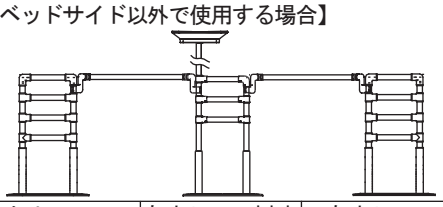
【ベッドサイドで使用する場合】

〈ベッド側〉



| たよレール | たよレールhigh | たよレール |
|---|---|---|
| セーフティアーム<br>または<br>セーフティウエイト | オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

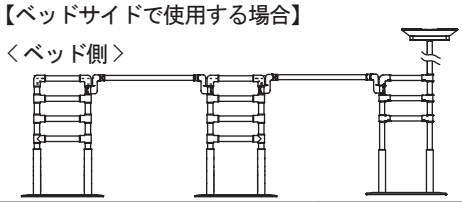
【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレール | たよレールhigh | たよレール |
|---|---|---|
| セーフティウエイト | オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

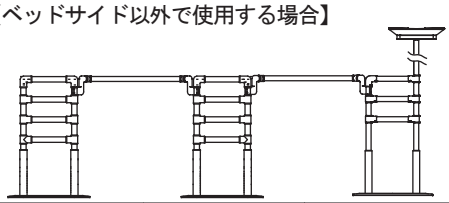
【ベッドサイドで使用する場合】

〈ベッド側〉



| たよレール | たよレール | たよレールhigh |
|---|---|---|
| セーフティアーム<br>または<br>セーフティウエイト | オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

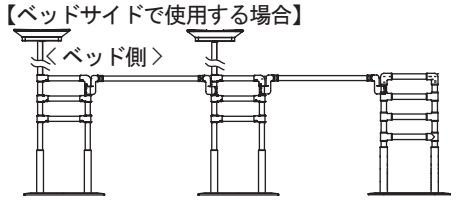
【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレール | たよレール | たよレールhigh |
|---|---|---|
| どちらか１台にセーフティウエイト | | オプション品<br>不 要 |

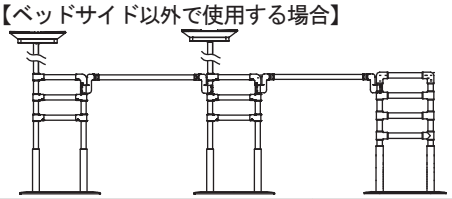
【ベッドサイドで使用する場合】

〈ベッド側〉



| たよレールhigh | たよレールhigh | たよレール |
|---|---|---|
| オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

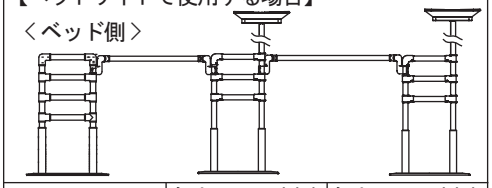
【ベッドサイド以外で使用する場合】



| たよレールhigh | たよレールhigh | たよレール |
|---|---|---|
| オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 | オプション品<br>不 要 |

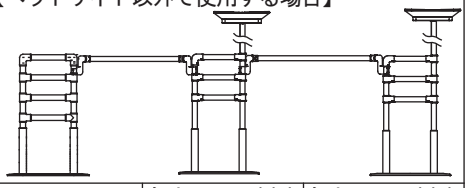
# ③ 取付け方法

【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉



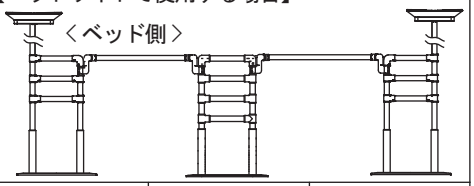
| たよレール | たよレール high | たよレール high |
|---|---|---|
| セーフティアーム または セーフティウエイト | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

【ベッドサイド以外で使用する場合】



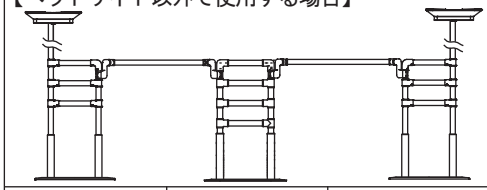
| たよレール | たよレール high | たよレール high |
|---|---|---|
| セーフティウエイト | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉



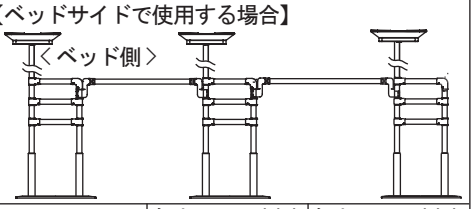
| たよレール high | たよレール | たよレール high |
|---|---|---|
| オプション品 不 要 | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

【ベッドサイド以外で使用する場合】



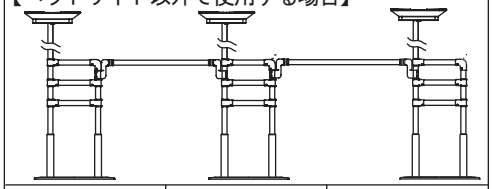
| たよレール high | たよレール | たよレール high |
|---|---|---|
| オプション品 不 要 | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

【ベッドサイドで使用する場合】
〈ベッド側〉



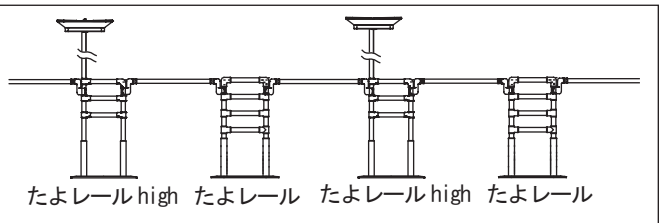
| たよレール high | たよレール high | たよレール high |
|---|---|---|
| オプション品 不 要 | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

【ベッドサイド以外で使用する場合】

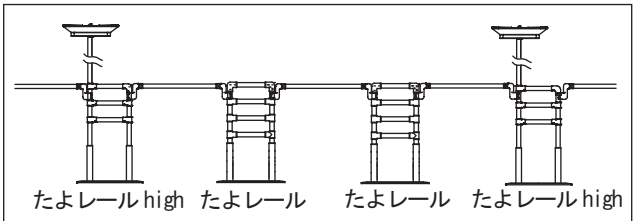


| たよレール high | たよレール high | たよレール high |
|---|---|---|
| オプション品 不 要 | オプション品 不 要 | オプション品 不 要 |

③たよレール（ＢＺ−Ｎ０１・ＢＺ−Ｎ０２・ＢＺ−Ｎ０３）または
たよレール high（ＢＺＨ−０１・ＢＺＨ−０２）を４台以上連結させる場合
３台目までの連結はＰ３①、Ｐ４②をご覧ください。
４台以上連結する場合はたよレール high を連続またはたよレール high と
たよレールを交互に連結させてください。たよレールを連続で連結しないでください。




使 用 可




使 用 不 可（たよレールの連続連結不可）

| | |
|---|---|
| ! | ●『セーフティアーム』、もしくは『セーフティウエイト』をたよレールの台数に合わせて、必ず必要な数だけ取付ける。 |
| | ●４台以上連結する場合はたよレールhighを連続またはたよレールhighとたよレールを交互に連結する。 |

# ③ 取付け方法

2．わたレール６００Ｎ・９００Ｎの取付け方法はＰ７『6．たよレール側ジョイントを仮固定する。』へ。

わたレール１２００Ｎをそのまま使用する場合はＰ６『5．切断した手すりに自在継ぎ手を六角棒スパナ（呼び2．5mm）、プラスドライバーでしっかりと締め付け、固定する。⑥』へ。

手すりの長さ調整を必要とする場合はわたレール１２００Ｎをご使用ください。取付け方法は続けて3．へ。

3．わたレール１２００Ｎの手すり棒を切断する。

①手すり棒の必要な長さを決め、手すりにけがく。
※施工に際しては必ず現場を実測する。

②手すり棒を金ノコで切断する。

●わたレール６００Ｎ・９００Ｎの手すり棒は切断しない。

●必ず切断可能方向（先端ブラウン色段差なし）の木口を切断する。

4．切断した手すり棒に印を付け、下穴φ3．7をあける。

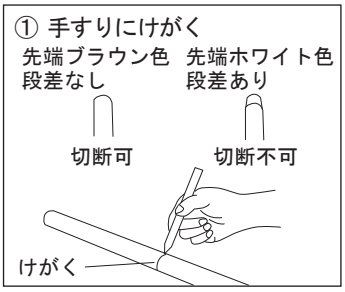
③自在継ぎ手に仮止めされている六角穴付き止めねじを外し、手すり棒に固定されている自在継ぎ手と向かい合う様に自在継ぎ手を挿し込む。

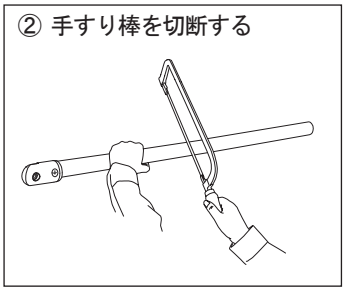
④皿加工されている位置で手すり棒に印を付ける。

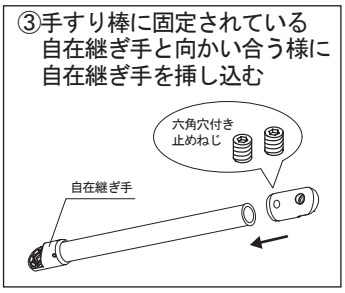
⑤自在継ぎ手を外し、印の位置に下穴φ３．７をあける。

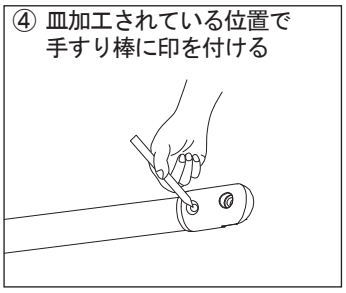
5．切断した手すりに自在継ぎ手を六角棒スパナ（呼び2．5mm）、プラスドライバーでしっかりと締め付け、固定する。
※締め付けトルク：２．５N・m

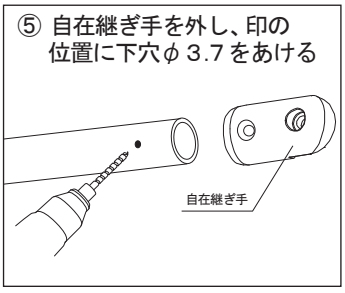
⑥プラスドライバーで自在継ぎ手の丸皿タッピンねじをしっかりと締め付け、固定する。六角棒スパナ（呼び2．5mm）で自在継ぎ手の六角穴付き止めねじをしっかりと締め付け、固定する。

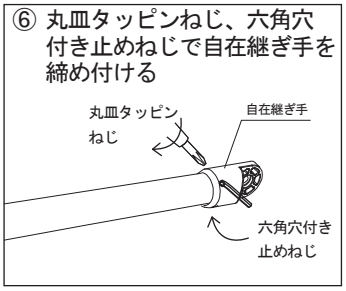


# ③ 取付け方法

6．たよレール側ジョイントを仮固定する。

⑦･⑧一方のたよレール側ジョイントをたよレール（たよレールhigh）に挟み込み六角穴付きボルトで仮固定する。

7．自在継ぎ手を仮固定する。

⑨･⑩自在継ぎ手を両方のたよレール側ジョイントへ六角穴付ボルトで仮固定する。

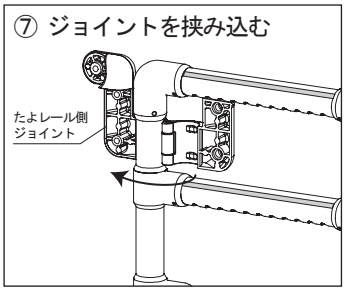
8．わたレールNの角度を調整して、反対側のたよレール（たよレールhigh）へ仮固定する。

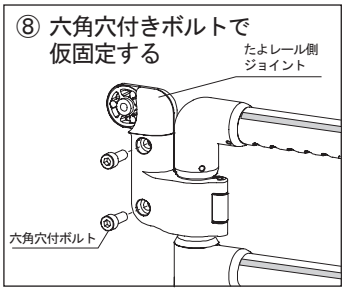
⑪対応傾斜角度は４５°までとする。たよレールのプレートがしっかりと立つ様、位置を調整する。

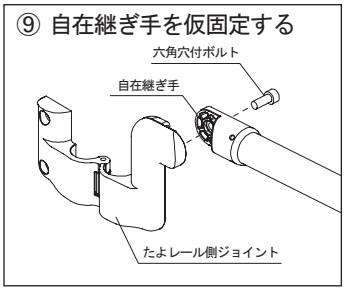
⑫たよレールのベースプレートがガタつかない様、また、たよレールhighの支柱が傾かない様、位置を調整する。

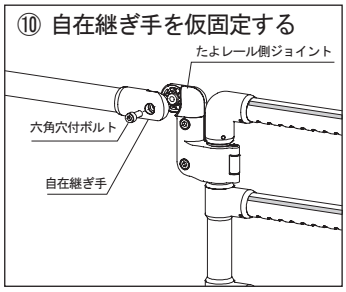
9．仮固定している六角穴付きボルトを六角棒スパナ（呼び６mm）でしっかりと締め付け、固定する。

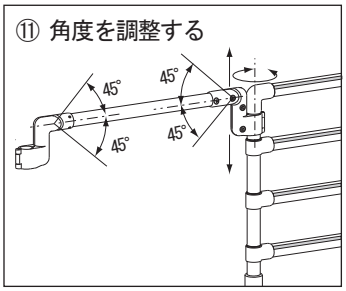
⑬六角棒スパナ（呼び６mm）でたよレール側ジョイント、自在継ぎ手の六角穴付きボルトをしっかりと締め付け、固定する。

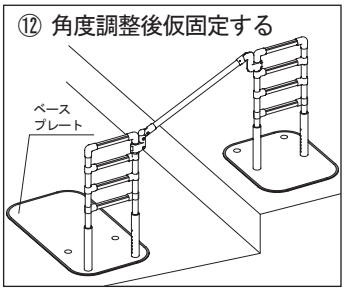


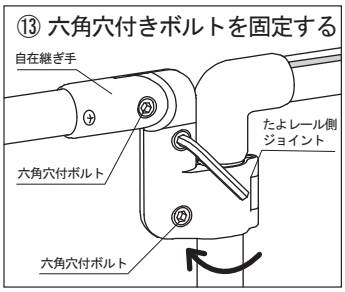



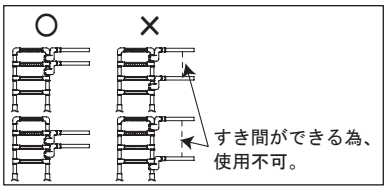



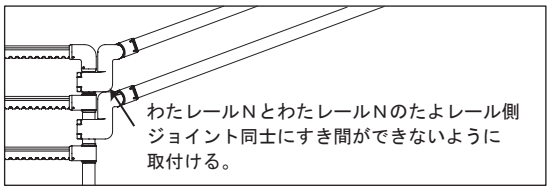



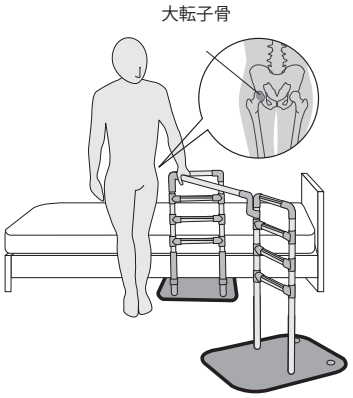

●たよレールは傾斜のある場所や布団の上など、不安定になる場所では設置しない。

# ④ 設置方法

●歩行補助の基準で手すりの高さを決める。
●歩行補助の場合、手すりの高さは使用する人の大転子骨あたりが良いとされています。
●わたレールNを２セット使用し、２段手すりとしても使用できます。
２段手すりとして使用する場合は下図の条件を守ってください。




| | |
|---|---|
| ❗ | ●高さ調整後は手すり固定ねじ等に緩みがないか確認する。 |
| | ●手すりの高さ、位置に関しては、あくまでも目安です。必ず使用される方の最適な位置を確認して設置する。 |
| | ●２段手すりとして使用する場合は左上図のすき間ができないように取付ける。 |

# ⑤ 使用上のご注意

●使用前にこの「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

**⚠ 警告（けいこく）** 重大な事故の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|---|---|---|
| 🚫 | ●海外で使用しない。※本製品は日本国内専用です。 | |
| 🚫 | ●たよレール及びたよレールのオプション品は、本来の使用目的以外では使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●動作補助具以外の用途で使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●足場にしたり、はしごや椅子として使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●子どもの遊具として使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●車椅子からの立ち上がりに使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●水平方向に力をかけない。 | ベースプレートが持ち上がり、転倒の原因となる。 |
| 🚫 | ●手すりを垂直方向（上に）引っ張らない。 | 万が一たよレールの手すりが抜けた場合、重大な事故の原因となる。 |
| 🚫 | ●手すりの間に頭や手足を入れない。 | 窒息や骨折の恐れがある。 |
| 🚫 | ●手、足、靴底が濡れている状態で使用しない。 | 滑りやすく、転倒の原因となる。 |
| 🚫 | ●製品が濡れている状態で使用しない。 | 滑りやすく、転倒の原因となる。また、布団や畳にカビが発生する原因となる。 |
| 🚫 | ●２人以上で同時に使用しない。 | 重大な事故や器具損傷の原因となる。 |
| 🚫 | ●電動ベッドで使用の際は、たよレールに身体（手足等）が触れた状態で電動ベッドを作動させない。 | 重大な事故の原因となる。 |
| 🚫 | ●予測できない行動をする可能性がある方や自力で危険な状態から回避できない方には使用しない。 | 重大な事故の原因となる。 |
| ❗ | ●設置後の安定性、使用される方の状況を確認の上、使用する。 | 重大な事故の原因となる。 |
| ❗ | ●使用に際しては、使用される方の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分に配慮をする。 | 重大な事故の原因となる。 |

# ⑤ 使用上のご注意

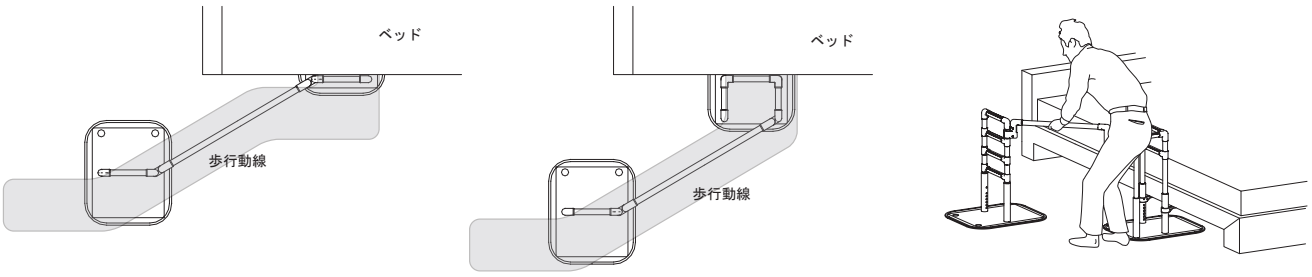
**注意**　ケガや器具損傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|---|---|---|
| ⃠ | ●火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前、床暖房の上で使用しない。 | 金属部分が熱くなり、やけどの原因となる。<br>また、変形や変色、器具損傷の原因となる。 |
| ❗ | ●介護者が使用される方の状態(安全に使用できる状態にあるか)を確認する。<br>※使用される方の健康状態や体調が変化した場合は、医師や介護福祉士などの専門員に相談してください。<br>※ご使用の際は、介護者が付き添って使用されることをお勧めします。<br>※状態に合わない場合は、直ちにご使用をおやめください。 | 事故の原因となる。 |
| ❗ | ●介護者などの付き添いが必要な場合は、十分注意する。 | 事故の原因となる。 |
| ❗ | ●結露した場合は、乾いた布などで拭きとる。 | 結露した状態で手すりを握ると滑って事故の原因となる。 |

# ⑥ 使用方法

【ベッドサイドで使用する場合】

●ベッドから立ち上がった後、歩行補助手すりまでの動作補助としてお使いください。




# ⑦ お手入れ方法

●お手入れ前にこの「お手入れ方法」をよくお読みの上、正しくお手入れしてください。

**注意**　ケガや器具損傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|---|---|---|
| ⃠ | ●酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。 | 変形変色の原因となる。 |
| ⃠ | ●シンナーやベンジン等の有機溶剤は使用しない。 | 変形変色の原因となる。 |
| ⃠ | ●クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。 | 傷がつく原因となる。 |
| ❗ | ●定期的にガタツキ・ボルトの緩み・締め忘れ、部品の破損、その他異常がないか点検する。 | ケガや器具損傷の原因となる。 |

## ■普段のお手入れ方法

1．柔らかい布でから拭きする。
2．汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きとる。
3．洗剤が残らないように水拭きする。
4．最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

**お手入れに次のものは使わないでください。**

✖酸性やアルカリ性の洗剤
(トイレ用洗剤や住宅用洗剤など)
✖シンナーやベンジンなどの有機溶剤
✖クレンザーや磨き粉
✖ナイロンたわし

| | |
|---|---|
| ❗ | ●浸け置き洗いはしない。変質、変形、変色の原因となる。 |
| | ●塩素系洗剤での清掃を行う場合、濃度は０．１%(1000mlの水に対し1ml)以下とし、柔らかい布に含ませた後、固く絞り、手早く拭く。<br>また洗剤が１箇所に溜まらないように注意する。 |

# ⑦ お手入れ方法

## ■消毒方法

●消毒は納入業者、または消毒施設のある業者へ依頼する。
アルコール清拭消毒(エタノール含量７０%～８０%程度)、逆性石鹸清拭消毒などを推奨します。

## ■点検

●定期的に点検を行い、ガタツキ、ねじの緩み、締め忘れや破損、その他異常がないか確認する。

●異常があった場合は、直ちに使用を中止し、納入業者へご相談ください。

## ■保管方法

●直射日光が当たらない、乾燥した常温の室内で保管する。
高温多湿の場所で保管しますと、変形やジョイント部が外れる原因となります。

# ⑧ 廃棄方法

●廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

# ⑨ 保証規定(保証書)

■保証期間：お買い上げ日より１年
この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後１年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。
ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理となります。
（１）本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
（２）火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
（３）お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
（４）使用による外観や本体外部の消耗および傷。
（５）リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
（６）日本国外での使用。
（７）当社もしくは当社の指定した修理事業者など以外による修理など。
（８）本書の提示のない場合。
（９）組立不備による損傷および不具合。
（10）納入業者名、ご購入日を明記されていない場合。

納入業者名：

ご購入日：　　年　　月　　日

# ⑩ 基本仕様

品名：たよレール用わたレールN

材質：ジョイント/アルミ合金
　　手すり/（被膜）半硬質樹脂、（芯材）アルミパイプ

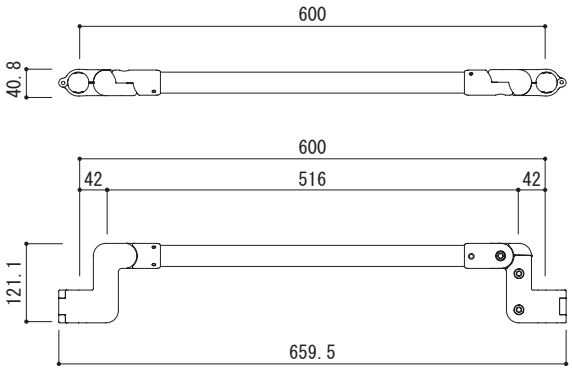
性能：抗菌仕様(手すり部)

重量：ＢＺＷ－６００Ｎ　１．２ｋｇ
　　ＢＺＷ－９００Ｎ　１．４ｋｇ
　　ＢＺＷ－１２００Ｎ ２．７ｋｇ

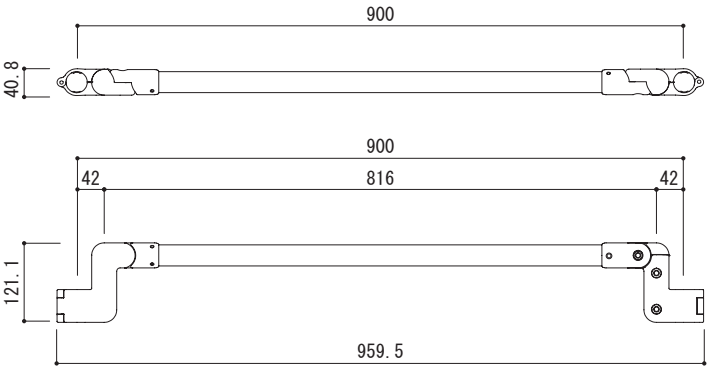
原産国：日本

寸法：図参照

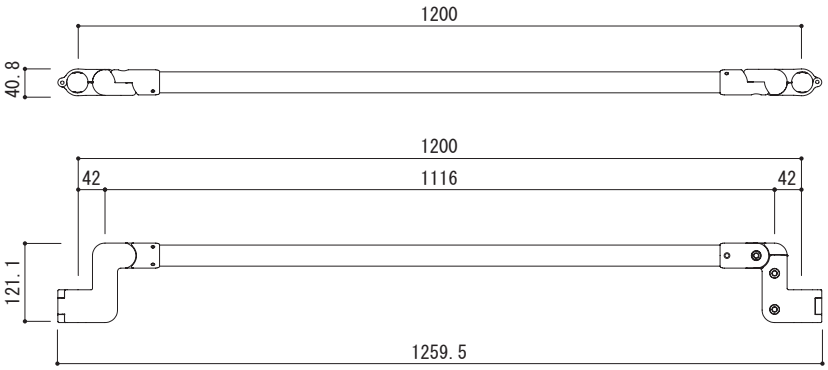
ＢＺＷ－６００Ｎ




ＢＺＷ－９００Ｎ




ＢＺＷ－１２００Ｎ




（単位　mm）

※商品改良の為、仕様・デザインなど
　断りなく変更することがありますのでご了承ください。

# たよレール

わたレール６００Ｎ・９００Ｎ・１２００Ｎ

マツ六株式会社
〒543-0051　大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL：06-6774-2255　FAX：06-6774-2248
http://www.mazroc.co.jp/



2013年8月26日改定